

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>地域とともに育ち、協働的に地域文化を創造する学校</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>高い知性と豊かな人間性・協働性を持ち、明朗闊達で礼儀正しく、目標に向かって粘り強く努力する力</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>知・徳・体のバランス重視 基礎基本を土台とした「主体的・対話的で深い学び(考える学び)」を推進し、多様性と協調性を尊び、心を育む</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>基礎的・基本的な知識・技能、生活習慣が身につけており、志を高く持って、これからの社会に貢献しようとする生徒</p>

<p>学校運営計画(4月)</p>			
<p>学校運営方針</p>			<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>昨年度は新校舎での教育活動を開始し新たな伝統に向けて一歩踏み出した。昨年度重点的に取り組んだ内容は以下のとおりである。 1国際交流 ①大野城市交流委員会からの依頼によるアメリカ人留学生の受入 ②イギリス(ロンドン)へ16名の海外派遣 ③大使館を通じて韓国とオンライン交流 2地域と一体化した学校づくり ①大野城市依頼のイベント参加(高架下イベント、地域夏祭り、ボランティア) ②大利小学校児童への英語出前授業(ボランティア生徒) 本年度は107年の伝統を引き継ぎつつ、大野城市唯一の高等学校としての使命を深く自覚し、地域と一体となった教育活動を目指す。そして「楽ではないけど楽しい学校」、「生徒が主役の学校」を実現すべく、「新生筑中」の土台作りを確実に進行する必要がある。また、生徒一人ひとりの「第1希望進路実現」と「世のため人のために尽くすことができる人財の育成」を学校全体の目標として教職員全員が協力して推進する。</p>	<p>(1) 主体的協働的に学ぶ生徒の育成と人間力の向上</p>	<p>AICTを活用した授業力向上のための研修をさらに充実させるとともに、授業以外の時間でもICTを活用した学びを深化させ、生徒が主体的に学ぶ姿を実現する。 イ個々の生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価する多面的評価を行い、生徒の自己肯定感を高める。 ウ自分と異なる個性や生き方、価値観等を認め合い、「いじめ」等の人権侵害を撲滅する。</p>	
	<p>(2) 課題解決力の育成と将来を見据えた進路の完全実現</p>	<p>ア5年後、10年後、50年後を見据えた生徒一人ひとりの多様な進路希望を完全実現するために必要な取組やスキルの一層の向上を図る。 イ充実した課題研究や小論文指導をとおり社会的・職業的自立に必要な能力を育成するとともに、夢や希望をもって学び、強い意志をもって進路実現を図ろうとする態度を養う。 ウ国内・海外語学研修等を通じて国際理解教育などグローバルな視野を持った生徒の育成を図る。</p>	
	<p>(3) 規律ある生活習慣の定着と感動体験の重視による豊かな心の醸成</p>	<p>ア「18歳成年」を踏まえ、社会生活の基盤となる生活習慣や規律等を生徒自ら創造し、社会生活に必要なとされる規則やマナーを遵守する態度を養うとともに公共の精神を涵養する。 イ生徒が主体となって取り組む生徒会活動や学校行事、部活動のさらなる充実を図り、自己指導能力を高めるとともに自主性、主体性、チャレンジ精神を育む。 ウ大野城市との連携を強化し、総合的な探究の時間やボランティア活動等で地域と連携した取組を行い、勤労の尊さや創造することの喜びを体得させ、望ましい勤労観、職業観の育成や社会奉仕の精神の涵養に資する。</p>	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
学習指導	教師の指導力向上と授業の「質」の改善による学力の向上	職員研修や生徒アンケートを有効利用して学習指導法の改善を目指す。 新学習指導要領、大学入学共通テストを見据えた学習指導計画を作成する。 AL型授業を展開し、主体的・対話的で深い学びを行う。	自宅学習時間調査実施(年2回)	自宅学習時間調査(1回目)
	基本的学習習慣の確立と人間力・社会人基礎力の向上	面談等を通じ、生徒自身に生活状況を分析させ、課題の解決に導く。 授業規律を徹底させるとともに、家庭学習の習慣化を図る工夫を行う。 主体的な学習を促すため、多面的評価及び目標準拠評価を確立させる。	科目欠課時数報告書の提出 成績通知表についての自己分析	
	校訓を掲げ所に、地域に根ざし時代に先駆けた新生筑紫中央を創る	大野城市や関係機関との連携を強め、生徒会・部活動の活性化と地域に根ざした活動を推進する。 校則の見直し簡素化により「18歳成年」に向けた自覚を促す。 教員・生徒ともに笑顔での挨拶を励行し「笑顔溢れる学校」を創る。	行事後の職員・生徒フォローアップアンケート:目標達成・満足度80% 部活動加入率調査の実施	
生徒指導	規範意識の向上と主体性・チャレンジ精神の醸成	定期の学校生活アンケートを活用し「いじめの予防・発見・早期対応」に努める。 各種講演会や規範意識育成学習の内容をより生徒の実感に即したものにす。 学校行事を通じ、個に応じた役割を与え達成感や充実感を味わわせる。	学校生活アンケート(年6回) いじめアンケート(年6回) 保護者対象いじめアンケート(年3回)	
	将来の夢を抱き、目的意識の明確化と進路目標の設定	多様な進路希望を完全実現するための取組を充実させる。 3年間を見通した進路指導計画に基づき進路指導を実践する。 国公立大学70名、西南学院大学延べ120名(難関私大10名)の合格者数を目指す。	進路行事の振り返りアンケート	
	進路指導体制の充実と大学入試改革への対応	内部の円滑な情報共有と外部からの情報を積極的に発信する。 全職員による個別指導を充実させる。 学習の自立化を支援できる手立てを進路目標に応じて提供する。	進路希望調査(年2回)	
企画広報	学校行事の円滑な運営	各分掌との連絡・調整を密にし、円滑な業務運営を行う。 学校要覧、入学の手引等、各種文書の迅速かつ正確な作成に努める。 PTA総会や役員会等の円滑な運営を行い、PTA活動の活性化を図る。	各行事の職員フォローアップアンケート: 各行事の目標達成度80%	
	効果効率的な広報活動	ポスター・パンフレットの内容を充実させ、中学校や塾に配布する。 中学生体験入学の実施方法や内容を検討し、志願者の増加に寄与する。 中学生や中学校PTAの学校訪問受け入れ、HPやSNSの充実に努める。	体験入学アンケート:学校の内容が理解できた中学生・保護者80%	
	ICT活用環境の整備	各教科・分掌と協力し、ICT機器活用に関する研修を実施し、ICT機器の利用率を向上させる。 生徒の実態に応じてchromebookの活用規定を見直し、周知の徹底を行う。 ICT機器の保守管理を徹底し、破損の場合も迅速に把握・対応する。	ICT活用アンケート(生徒・教員)	
情報	教育の情報化推進	デジタル採点システムの効果的な利用法の情報を蓄積・提供し、利用促進を図る。 統合システムの利用方法の周知を徹底し、円滑に成績処理ができるようにする。 ICT機器や各種システムの職員研修を行い、職員全体の習熟度を向上させる。	ICT支援員による報告書	
	学校保健活動や美化活動の充実	定期健康診断、健康増進事業の充実により、生徒の健康を保持増進する。 環境問題に目を向けさせ、ゴミの減量化と美化意識を高める。 献血事業への協力により社会貢献意識の向上を図る。	修学旅行、体育的行事前の健康調査 献血協力者への意識調査	
図書	教育相談の充実と心の健康の保持促進	教育相談委員会や学年教科連絡会を通して、情報の共有化を図る。 支援配慮が必要な生徒に対して、SC・SSWと連携し、早期対応を行う。 保健室利用が目立つ生徒に対して、SC・SSWへと繋いでいく。	SC・SSWの活用状況 学校生活アンケート 保健室来室状況	
	図書館活動の推進及び刊行物の充実	蔵書の充実と広報活動に努め、図書館の利用者を増やす。 諸行事における活動を通して、図書委員のリーダー育成を図る。 刊行物(図書館報・PTA新聞)の内容の見直しをして、より良いものにしていく。	図書館の利用者数・貸出数の統計 図書館利用のアンケート	
研修	校誌・芸術鑑賞会の充実	校誌編集を通して委員会活動の活性化を図る。 芸術文化の素晴らしさを認識させ、伝統と文化を尊重する態度を育成する。 芸術鑑賞を通して、社会に必要なマナー等の向上を図る。	行事後のアンケート	
	職員研修の充実	職員研修会を充実させる ICT活用・AL型授業などのテーマを決めて研究授業・相互授業参観を実施する ICTを活用した授業改善に努める	授業アンケート実施(年2回)	
	人権意識の高揚	人権同和教育についての職員学習会など事前準備を徹底する 人権意識強化週間を設け、読み物企画を実施する 学校生活のあらゆる場面で道徳的教育を行う	人権学習後のアンケート実施(年2回)	

様式3

第1学年	高校生としての基本的な生活習慣の確立	筑紫中央高校の生徒としての生活習慣の確立	入学後アンケート 学校満足度アンケート(学年独自)	
		学習習慣の確立(自学できる力・家庭での学習習慣の確立)		
		部活動・学校行事に積極的に参加をする		
第2学年	自らの進路について考えスキルアップを目指す	自らの進路選択について考える機会を多く設ける	進路希望調査(年2回) キャリアアンケート(4～5月実施)	
		資格取得・校外活動等に積極的に参加をさせる		
		筑紫中央高校独自の課題研究の確立に取り組む		
第2学年	学力と進路意識の向上	学習支援ツール活用の充実と学習時間の確保をさせる。	スタディサプリ活用データ(学年独自) 家庭学習時間調査(学年独自) 進路希望調査(年2回) 授業アンケート(年2回)	
		面談等において、生徒各個人の進路希望を明確にし、適切なコース選択をさせる。		
		校外模試結果の分析と適切なフィードバックをする。		
第3学年	各個人の進路実現に向けた学習環境の整備	「時間・挨拶・掃除・返事」の指導の徹底をする。	学校生活アンケート(年6回) いじめアンケート(年6回) 行事後のフォローアップアンケート	
		人間関係・SNS等のトラブル未然防止と早期発見・早期対応をする。		
		学校行事等で生徒が人前に立ち、リーダーシップを発揮できる機会を作る。		
第3学年	リーダーシップと社会人としての行動力の育成	授業を通じて、自ら学ぶ姿勢を醸成し、学力の向上を図る。	授業アンケート(年2回) 進路希望調査(年2回)	
		定期的に面談を行い、進路意識の向上を図る。		
		こまめに進路情報を発信や、校内での学習環境を整える。		
事務部	工事と教育活動の調整	最上級生としての後輩の手本となるような発言・行動を意識させる。	学校生活アンケート(年6回) いじめアンケート(年6回)	
		SNS等のトラブル未然防止、いじめを許さない雰囲気作りに努める。		
		自分の行動に責任を持ち、他者と協働しながら学校生活を進めていくことで、一人ひとりが自立(自律)していくことを促す。		
事務部	適切な事務運営	旧校舎解体、渡り廊下設置など多数の工事による教育活動への支障が最小限となるよう綿密に打ち合わせを行う。	各種監査	
		光熱水費の他各種予算節減に努める。		
		効率的な事務を心掛け、迅速かつ正確な事務処理を目指す。		